

【令和元年8月27日実施】

酪農・肉用牛生産については、飼料価格や子牛価格の高騰、農家戸数や飼養頭数の減少など、生産基盤の弱体化により、生乳等生産量が減少しています。このような状態を放置すれば、今後の酪農・肉用牛生産の持続的な発展に支障が生じかねません。特に大阪府では都市化が進み、飼養環境の問題からも農家戸数等が減少傾向にあります。

これらを踏まえて、大阪府の酪農・肉用牛生産の持続的な発展に向けた生産基盤強化の取組みについて、人（担い手）、牛（飼養頭数の確保）、飼料（飼料費の低減、安定供給）、環境保全（資源循環）の視点から、グループとしての意見をまとめてください。